

福島の子どもたちと家族のための週末保養プログラム

11年目の 「森の休日2022」 サポーターの募集！

～ あなたのお力貸してください！ ～

“おとなも子どもも森で遊べ”をテーマに、長井市及びその周辺の自然を活用して活動を行っている「葉っぱ塾」(<http://blog.livedoor.jp/happajuku/>)では、福島の子どもたちとそのご家族のための週末保養プログラム「森の休日」を、2012年5月から継続開催しています。この取り組みは、福島の子どもたちがブナの森で思う存分遊び、また家族の皆さんの心のストレスを少しでも解消し、リフレッシュしていただきたいという目的で継続開催してきたものです。この取り組みは、2021年11月までにすでに95回を数えています。

このプログラムを実施するには、現地で子どもたちやその家族の皆様のサポートをするスタッフが必要になります。具体的には、**野外活動の付き添い、子どもたちの遊び相手、お父さん、お母さんたちの話し相手、一緒に夕食づくり、その他の体験活動の提供**などです。2日間の連続でなくても、日帰りやパートタイム参加でけっこうです。お子さんとご一緒にの参加も歓迎です。みなさんのお力をぜひお貸してください。

【当面の開催期日】 ※参加可能な日をお知らせください。

- ① 4月23～24日 ② 5月14～15日 ③ 6月11～12日 ④ 7月16～17日
⑤ 9月 3～ 4日 ⑥ 10月22～23日 ⑦ 11月12～13日

参加者、とりわけ子どもたちは、短い時間を目一杯使って、生き生きと活動してくれるのがとても印象的です。サポーターは山形県民にかぎりません。福島の方や、山形に避難しておられる方など、福島の方々の心がわかる方大歓迎です。参加されたお母さんのお一人からは次のような感想をいただいております。

★ 昨日今日と、二日間大変お世話になりました。見送られてすぐ、あんなにはしゃいでいた娘が、車内で涙をぬぐっていました。そして帰り道に、グミと玉こんにゃくを買って、ぐっすりお昼寝して福島へ。祖父母宅にりんごをお裾分けしに行くと、息子は、人工衛星を見たことを祖父に話していました。娘は、ラミネートしてもらった葉っぱを祖母に見せて、お友達ができたよ、とか、たくさんたくさんおしゃべりしてました。土産話がいっぱいこの二日間、親子で楽しませていただきました。本当にありがとうございました。普段、あまり気持ちを出さない息子が帰宅後に、木のバッジを大事に戸棚の中に飾って、「2022年もやるのかなあ。行きたいなー。」って、小さくつぶやいていました。なんだか胸があつくなりました！！また、次の機会も参加させていただきたいな～と思います。 (福島市在住 I さん)

この活動へのサポーターとして登録していただき、福島の子どもたちと共に歩む活動の一翼を担っていただけたらありがたいです。開催日が近づきましたら手を挙げてくださった方々にご連絡し、参加の可否をお伺いいたします。区市町村の社会福祉協議会で「ボランティア保険」に加入の上、お申し込みください。

【申し込み・お問い合わせ】

葉っぱ塾 八木文明 090-5230-8819 e-mail happa-fy@dewa.or.jp

※お名前、年齢、ご住所、携帯電話番号、メールアドレスをお知らせください。

+ ~ + ~ ++ ~ + ~ ++ ~ + ~ ++ ~ + ~ ++ ~ + ~ ++ ~ + ~ +

☆この「森の休日」の経費については「葉っぱ塾ボランティア支援募金」を活用しています。取り組みを長く継続できるように、募金への呼びかけにもご協力ください。

【葉っぱ塾ボランティア支援募金】

■郵便振替口座 02420-5- 19722

■加入者名 八木文明

※通信欄に「ボランティア支援」とご記入ください。